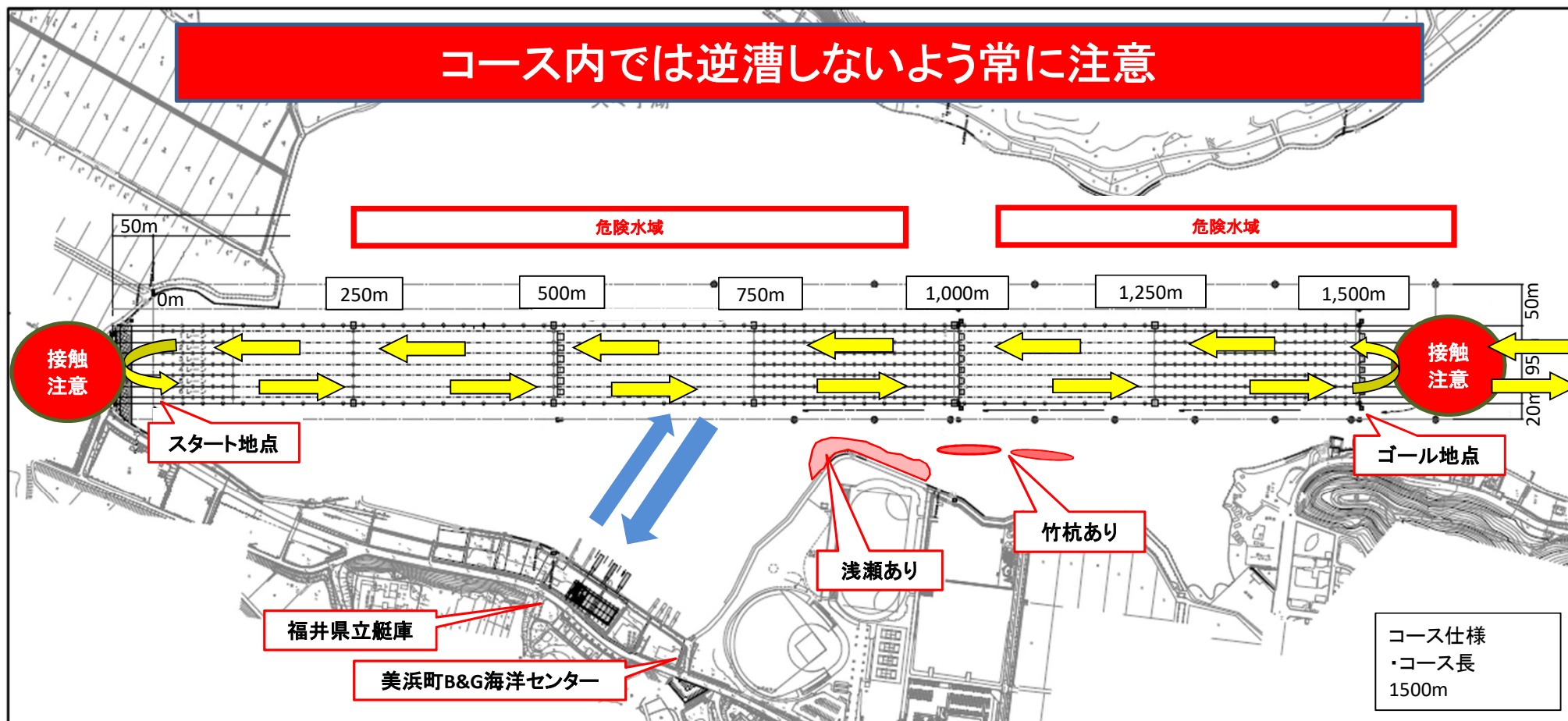


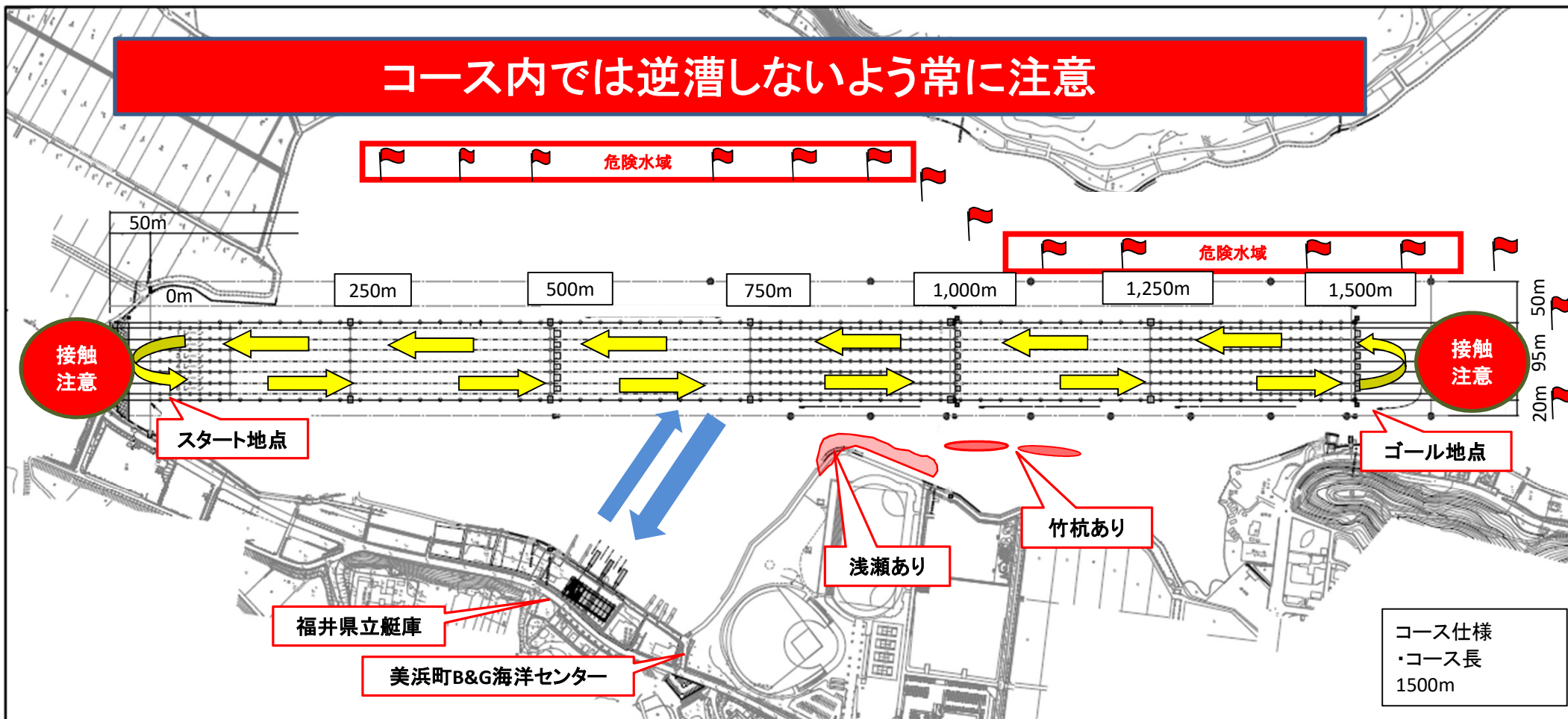
「関電ローイングセンターみはま」航行ルール(通常練習時)

コース内では逆漕しないよう常に注意



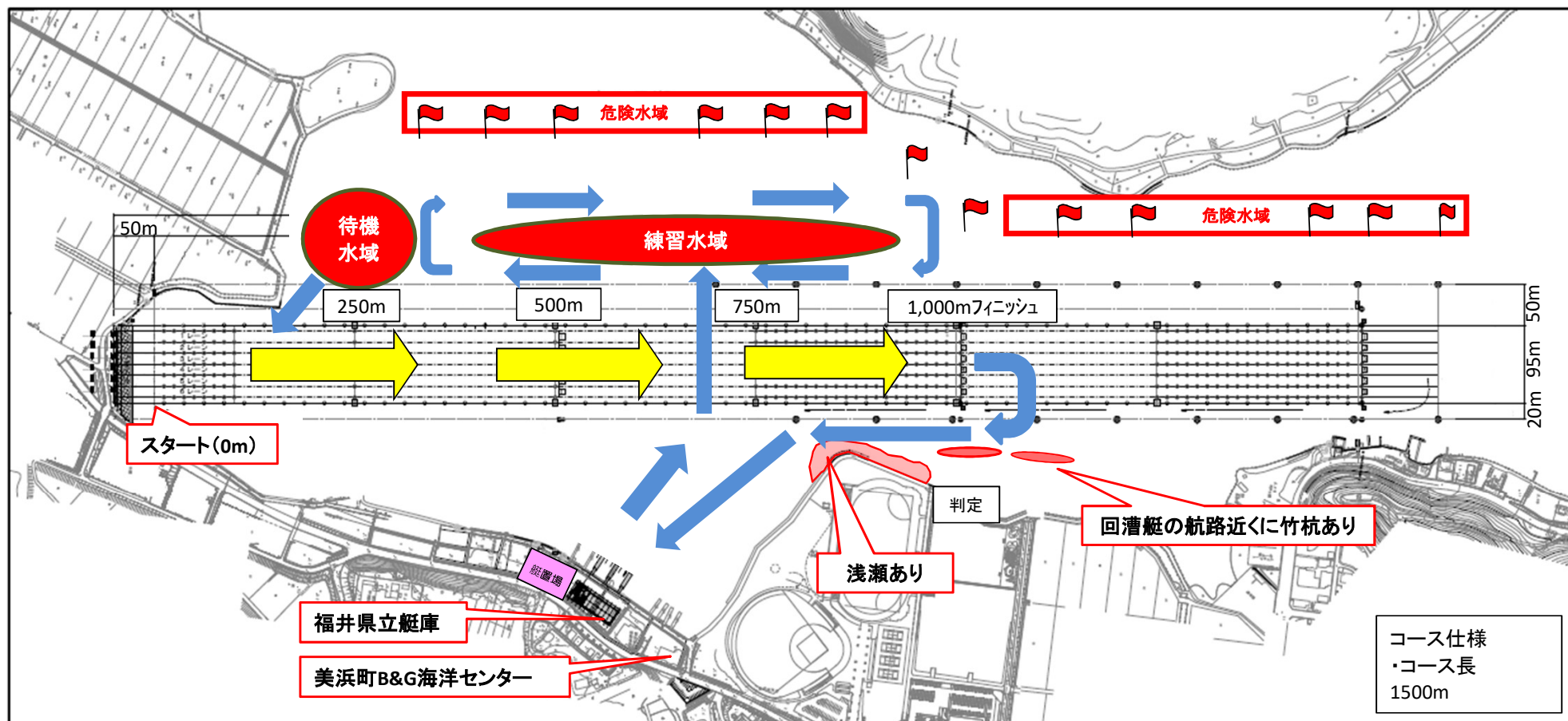
- ◆コースは対岸から1L, 2L, 3L...であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆コース内での航行ルールは、1～2レーンがゴール地点⇒スタート地点へ向かう「逆向レーン」、4～6レーンがスタート地点⇒ゴール地点へ向かう「順向レーン」である。接触を回避するため、3レーンは使用しない。但し、舵手付き艇種については、3レーンの使用を認める。
- ◆県立艇庫棧橋からコースまでの間は常に後方確認を行う。
- ◆2000mで練習を行う場合、1500m付近での接触に特に注意するとともに監視を徹底する。

「関電ローイングセンターみはま」航行ルール(公式練習時)



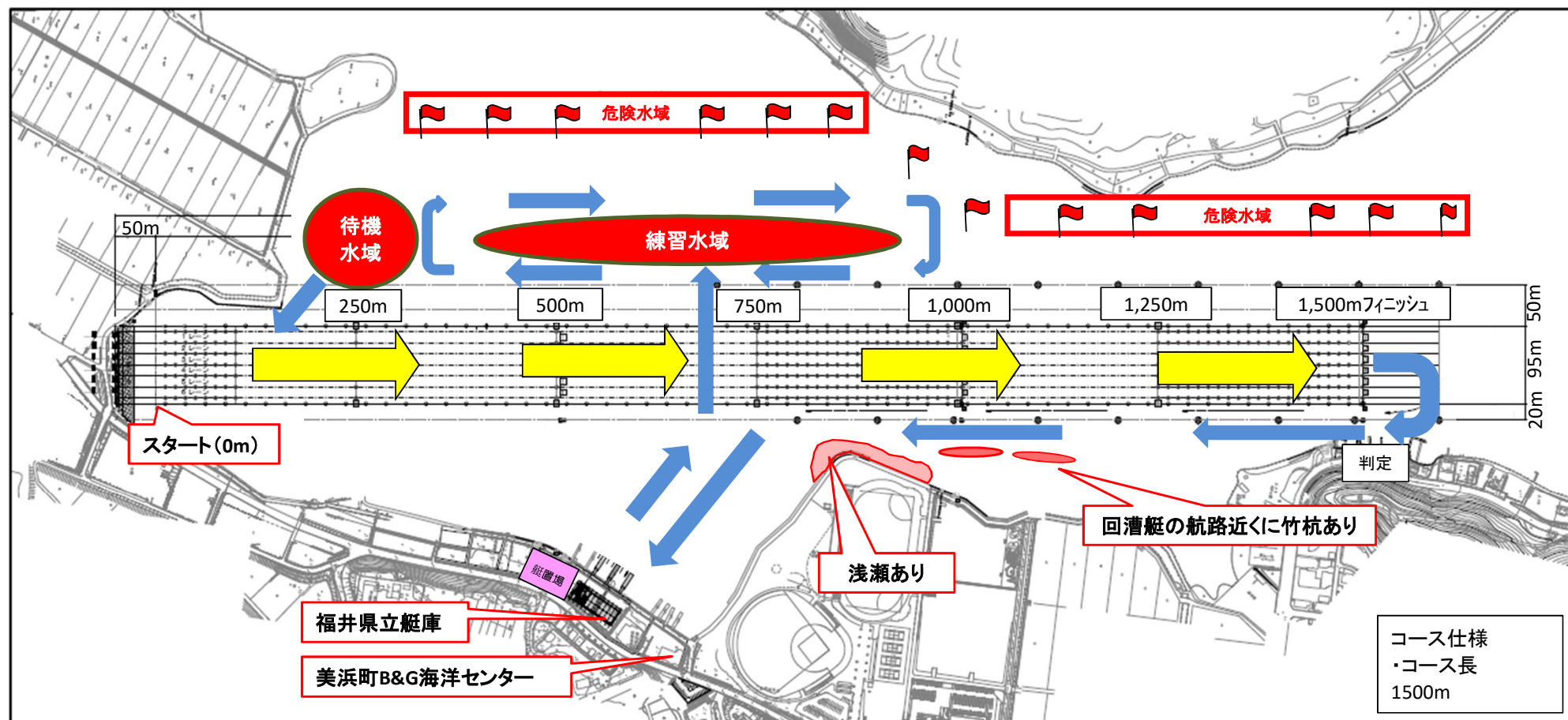
- ◆コースは対岸から1L, 2L, 3L...であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆コース内での航行ルールは、1～2レーンがゴール地点⇒スタート地点へ向かう「逆向レーン」、4～6レーンがスタート地点⇒ゴール地点へ向かう「順向レーン」である。接触を回避するため、3レーンは使用しない。
- ◆レース開始の30分前からコース閉鎖とする。
- ◆県立艇庫桟橋からコースまでの間は常に後方確認を行う。

「関電ローイングセンターみはま」航行ルール(1,000mレース時)



- ◆コースは発艇から見て左手より1L, 2L, 3L...であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆レース開始30分前からコース閉鎖とする。
- ◆コース対岸側には「練習水域」を設定する。(航行ルールは時計まわりとする)
- ◆レースに向かうクルーは、700m~750m間を横断し練習水域へ向かう。県立艇庫からコースまでは常に後方を確認する。
- ◆自身の発艇定刻が近づいてくれば、練習水域から待機水域へ移動し、発艇からの呼び込みがかかった後、200mあたりからコース内へ進入し、自己レーンを通ってスタート方向へ向かう。
- ◆対岸側の赤旗設置場所より先は危険なため超えないこと。また、岸に近い所には浅瀬があるので注意すること。

「関電ローイングセンターみはま」航行ルール(1,500mレース時)



- ◆コースは発艇から見て左手より1L, 2L, 3L…であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆レース開始30分前からコース閉鎖とする。
- ◆コース対岸側には「練習水域」を設定する。(航行ルールは時計まわりとする)
- ◆レースに向かうクルーは、700m～750m間を横断し練習水域へ向かう。県立艇庫からコースまでは常に後方を確認する
- ◆自身の発艇定刻が近づいてくれば、練習水域から待機水域へ移動し、発艇からの呼び込みがかかった後、200mあたりからコース内へ進入し、自己レーンを通ってスタート方向へ向かう。
- ◆対岸側の赤旗設置場所より先は危険なため超えないこと。また、岸に近い所には浅瀬があるので注意すること。